

十六年度予算編成に向けて



麦田 博稔議員

健康づくり推進の

ための「課」を

麦田博稔議員 町民が心身ともに健康で、心豊かな生活ができる生活環境医療、生涯学習推進態勢の総合的な整備を図り、健康づくりを推進するために、一体化した「課」の設置はできないか。

北村町長 一体化は、制度上困難であるが、一緒に行ったほうが効率がよい場合が多いので、国保部門と保健福祉課の一層の連携を図れるように努める。

緊急通報態勢の

拡充を

麦田議員 一人暮らしや夫婦二人暮らしの高齢者が、安心して生活できるように、緊急通報態勢の拡充を図れないか。

町長 現在、四八名の方が、この制度を利用してゐる。本人負担による設置等も含め、拡充策について研究したい。

福祉ネットワーク

充実を

麦田議員 高齢者が、日常生活における不安解消を図り、生きがいを持って社会参加できる福祉ネットワークを充実させるべきではないか。

町長 語らいの場としての「高齢者ふれあいサロ

ン」等の設置について、研究をしたい。また、高齢者がお互いに見守るなど、不安解消や態勢整備を行っていく。

「おしどり」を

観光振興に

麦田議員 絶滅危惧種に

指定されている「おしどり」が、県立公園付近の川内川に来てゐる。これを観光協会、商工会、県立公園、川内川河川事務所等と連携を取り、冬の観光の主役にできないか。

町長 観察ができる場所

の整備について検討するとともに、双眼鏡を設置するなどして、冬場の観光の一環としてPRしていく。

県立高校統廃合

問題への対応は

麦田議員 地域経済に与える影響、保護者の負担などを考えて、宮之城高校・宮之城農業高校の存続を強く訴えるべき活動をすべきではなかったか。また、今後の対策では、県の「活力ある高校づくり基本計画」のなかで、関係部局や地元関係者と十分に協議するように規定されているので、町民、関係者の意見を聞くなど、慎重な対応をすべきではないか。

町長 そのような一面もあるなど、反省をしている。今後については、住民の意向等を踏まえながら対処していきたい。



「おしどり」が飛来する「おしどり橋」上流